

スタンドパイプセット取扱要領



WARABI

蕨市消防本部

【目次】

I スタンドパイプセットについて

- 1 スタンドパイプセットの配備について 1
- 2 スタンドパイプセットとは 2
- 3 スタンドパイプセットの使用について 2
- 4 各種資器材の概要 3

II 消火栓

- 1 概要 7
- 2 蕨市内における消火栓蓋の種類 7
- 3 消火栓の構造 8

III 各種資機材等取扱要領

- 1 消火栓蓋開閉要領 8
- 2 スピンドルドライバー及びスタンドパイプの取扱い要領 . 10
- 3 その他各資器材取扱要領 13

IV 消火活動

- 1 消火活動要領 17

V その他

- 1 注意事項 20

2 取扱いの疑問等に関する連絡先 21

Ⅰ スタンドパイプについて

1 スタンドパイプセットの配備について

近年、東日本大震災や熊本地震等の大規模な災害が発生し、甚大な被害をもたらしております。今後、蕨市内においても東京湾北部地震等の発生が予想され、同時多発する火災が想定されることから、地域の方々や自主防災会組織等にスタンドパイプセットを配備し初期消火活動や延焼防止活動を実施していただき、火災による被害の軽減を期待するところであります。

なお、災害時のご使用にあたり、身の危険を感じた場合や家屋の倒壊等のおそれがある場合、活動を速やかに中止し避難するようお願いいたします。



写真提供：神戸市

2 スタンドパイプセットとは

消火栓に直接接続し、放水ができる消火資器材です。軽量で、持ち運びし易い可搬式であり、取扱いが比較的容易です。



3 スタンドパイプセットの使用について

使用は原則、訓練を受けた者が操作して下さい。また安全に取扱いができるよう、消防職員等による指導のもと、定期的な訓練を行い、知識、技術の向上に努めていただきますようお願いいたします。



4 各種資器材の概要

①【スタンドパイプ】

地下式消火栓とホースを結合するための器具



②【スピンドルドライバー】

消火栓の開閉バルブを操作し、水を出す器具



③【消火栓蓋開閉器】

消火栓の蓋を開閉するための器具



④【筒先】

ホースに結合し、放水を行う器具(切替により、ストレート放水や噴霧放水が可能)



⑤【消火用ホース】

水を送るために使用するホース

長さ 20m

口径 40mm



⑥【台車】

①～⑤の資器材を積載し、移動する台車



配備資器材一覧表

No.	品名	数量
①	スタンドパイプ	1
②	スピンドルドライバー	1
③	消火栓蓋開閉器	1
④	筒先	1
⑤	消火用ホース	2
⑥	台車	1

II 消火栓

1 概要

消火活動に必要な水を供給するための設備で、スタンドパイプや消火用ホースを接続し、使用するものです。蕨市内には約590基の消火栓があり、市内各所に設置されています。



【地下式消火栓】

2 蕨市内における消火栓蓋の種類

蕨市内の消火栓は、地下式になっており、黄色い枠で囲われているものや、標識が設置され、わかりやすくなっています。

蕨市内には次に掲げる3種類の消火栓蓋があります。



【丸型(小)】



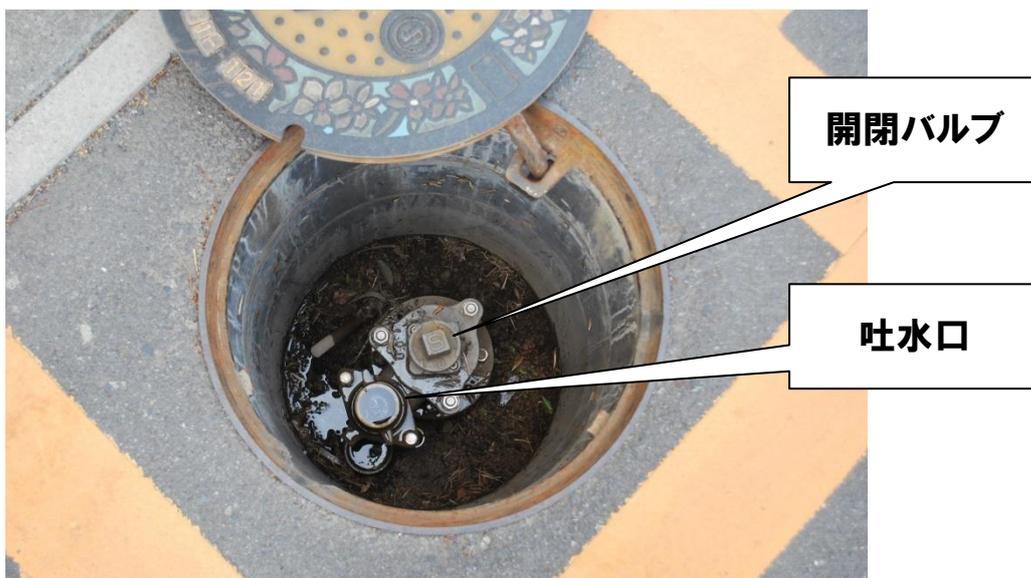
【丸型(大)】



【四角型】

3 消火栓の構造

消火栓は、開閉バルブと、吐水口で構成されており、水道管に直接取り付けてあります。



Ⅲ 各種資器材等取扱要領

蕨市内の消火栓を使用するには、専用の器具(スタンドパイプセット)が必要となります。そのため、安全な活動が行えるよう、適切な使用方法を理解する必要があります。

1 消火栓蓋開閉要領

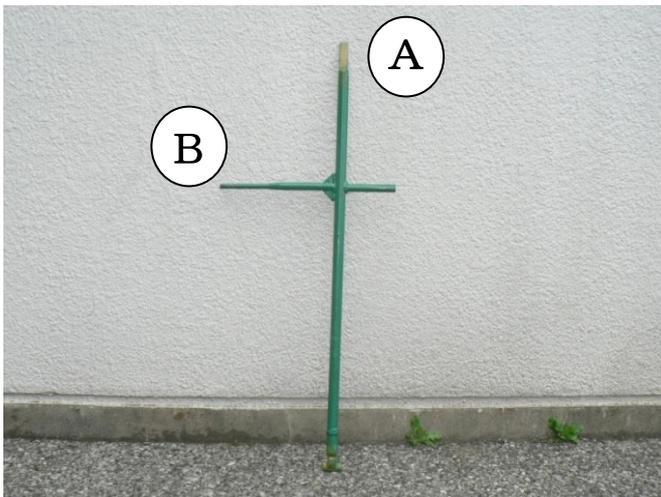
(1) 操作方法

- ① 開閉をする前に必ず周囲の安全確認を実施して下さい。

② 次の【消火栓蓋】**ア**の穴に次の【消火栓蓋開閉器】**A**を挿しこみ、テコの原理で開放します。

③ 次の【消火栓蓋】の鍵穴**イ**に次の【消火栓蓋開閉器】**B**を挿しこみ90度回転させ、一度真上に引上げます。その際には腰に負担がかからぬよう、膝の力を使って下さい。その後、右方向または左方向へ消火栓蓋を旋回し、開放します。

④ **転落には十分注意して下さい。**



【消火栓蓋開閉器】



【消火栓蓋】



【テコによる開放】



【鍵穴による持ち上げ】



【蓋を回転】

2 スピンドルドライバー及びスタンドパイプの取扱い要領

(1) スピンドルドライバーによる開閉バルブ開放要領

- ① 【スピンドルドライバー】を【消火栓】の開閉バルブに取り付けます。
- ② 水が出ることを確認するため、スピンドルドライバーを半時計回りにゆっくりと回転させ、水を少しずつ出します。その際、赤水が出る場合があるので、出なくなるまで水を出します。



【スピンドルドライバー】



【消火栓】



【取り付け】



【少しずつ水を出す】

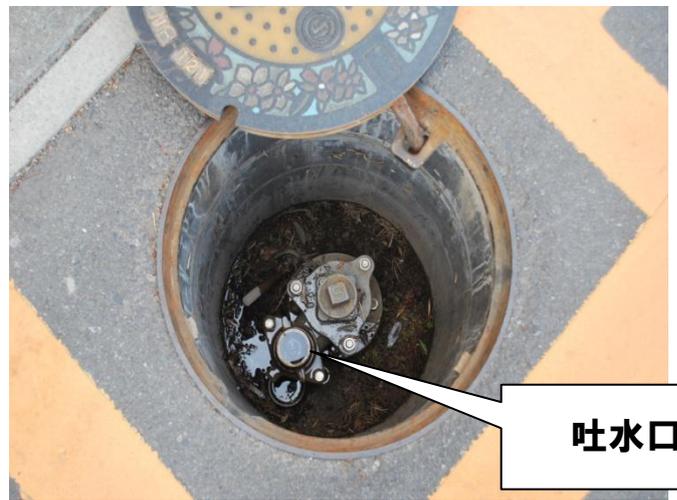
(2) スタンドパイプ取り付け、取り外し要領

① 取り付け要領

【消火栓】の吐水口に【スタンドパイプ】を「カチッ」と音がするまで差し込みます。その後、しっかりと取り付けられているか何度か上下に引き上げ確認します。



【スタンドパイプ】



【消火栓】



【取り付け後、上下に引き上げ確認】

② 取り外し要領

次の【スタンドパイプ】解除レバーを握り、真上に引き上げることでメス金具が解除され、取り外しができます。

解除する際は、必ず開閉バルブが閉鎖されていることを確認してから行って下さい。



【スタンドパイプ】



【解除レバー】



【解除レバーを握り】



【真上に引き上げる】

3 その他各資器材取扱要領

(1) 消火用ホース結合要領

ホースの両端には、オス金具、メス金具と呼ばれる金具がついており、その金具を結合することで、消火栓から離れた位置に送水できる仕組みとなっております。



① スタンドパイプ及びホース結合要領

スタンドパイプのオス金具とホースのメス金具を結合し、ホースを延長します。更にホースとホースを接続するには、ホースのオス金具とメス金具を結合します。結合後には、確実に結合されているか引っ張って確認します。



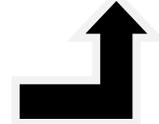
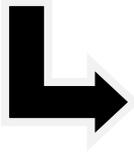
【スタンドパイプ×ホース】



【ホース×ホース】

② ホース離脱要領

結合した消火用ホースを離脱するには、オス金具についている環をメス金具の方向に「カチャツ」と音がするまで押しこみ、抜きます。



(2) 消火用ホース延長要領

① ホースを前方に延長しますので必ず周囲の安全を確認します。延長する先に人や障害物等がないか確認して下さい。



② 右図の要領でホースを地面に置きメス金具側のホースを足で踏み、オス金具を手で持ち目標建物等に向かって延長します。



③ ホースメス金具を消火栓に取り付けたスタンドパイプに結合します。



④ 右図の要領でホースオス金具に筒先を結合し、目標建物等に向かってホースを延長します。



(3) 筒先の取扱要領

筒先は、水を放水するためのノズルと、ホースを結合するメス金具で構成されています。ノズルの先端を左に回すと放水が始まり、回し続けると放水角度が広がっていきます(噴霧放水)。なお、結合方法は3(1)の消防用ホース結合要領と同様の操作となります。

また、**放水中は筒先を絶対に放さないでください。放してしまうと水圧でホースと筒先が暴れてたいへん危険です。**



【ストレート放水】



【噴霧放水】

IV 消火活動

1 消火活動要領

消火活動は、原則4名以上で行い、二次災害(怪我等)を防止するためヘルメットや防災服、手袋等を着用し、安全に留意して下さい。また消火活動中、**身の危険を感じたら即時に活動を中止し、筒先ノズルを閉鎖後避難して下さい。**

項目	指揮者	放水員 (1番員)	補助員 (2番員)	消火栓操作員 (3番員)
①スタン ドパイプ の搬送	全員で協力して、火災発生現場の近くの消火栓まで、スタンドパイプセットを搬送。			
②消火栓 蓋の開放	周囲の安全管理。	延長するホース及び筒先の準備。	延長するホースの準備。	開閉器を使用し、消火栓の蓋を開放。
				

項目	指揮者	放水員 (1番員)	補助員 (2番員)	消火栓操作員 (3番員)
③ スピンドルドライ の取付け	周囲の安全管理。	延長するホース及び筒先の準備。 	延長するホースの準備。 	スピンドルドライバー、スタンドパイプの取り付け。 
④ ホース延長	ホース延長に伴う安全管理。	消火栓から目標建物等に約20m進んだ位置でホースを延長。 	消火栓付近で目標建物に向かってホースを延長。 	取り付けた器具の確認。 
⑤ ホース結合	周囲の安全管理。	自分が伸ばしたホースに筒先を結合し、目標建物等に延長する。 	自分が伸ばしたホースをスタンドパイプに結合後、1番員が伸ばしたホースにも結合。 	

項目	指揮者	放水員 (1番員)	補助員 (2番員)	消火栓操作員 (3番員)
⑥放水開始準備	周囲の安全管理。	自分が伸ばしたホースに筒先を結合し、目標建物等に延長する。 	1番員目指してホースの最先端に向かう。	取り付けた器具の確認。 
⑦放水開始	放水開始の合図を行う。	放水開始と2番員に伝える。  送水されたら筒先を操作し放水を開始する。 	1番員の合図にて消火栓に いる3番員に放水開始を 伝えに行く。  伝令後、1番員の補助。 	2番員の開始合図を受けス ピンドルドライ バーを回し放水を開始する。 

※ 消防隊到着後、消火を中止し指示に従って下さい。

V その他

1 注意事項

次のことに注意し、安全な消火活動を実施して下さい。

- ① 消火栓蓋を開けた際は、近隣住民等の転落防止に努める。
- ② 放水中は筒先を離さない。
- ③ 身の危険を感じた時や家屋倒壊の恐れがある場合は避難する。
- ④ 筒先は必ず閉めてから避難する。
- ⑤ 消防隊が到着したら指示に従う。
- ⑥ 訓練を行う際は、必ず消防職員等による指導のもと実施すること。
- ⑦ 住民による消火栓の使用は、大規模災害時のみとする。

以上7点のことを注意し、安全、確実な活動を実施して下さい。

※ 火災等で使用したホースはお近くの藤市消防署及び塚越分署までお持ち下さい。洗浄・乾燥を行います。

2 取扱いの疑問等に関する連絡先

使用方法等についての疑問等がございましたら、蕨市消防本部までご連絡下さい。

担当課	業務時間	電話・FAX番号	メールアドレス
蕨市消防本部 総務課警防係	月曜日～金曜日 (年末年始、祝日を除く) 午前8時30分～ 午後5時15分まで	TEL 048-441-0173 FAX 048-441-0181	keibou@city.wa-rabi.saitama.jp